

## 書評部門 最優秀賞

三島遼さん 理学部 3回生

『おいしい数学：証明の味はパイの味』

ジム・ヘンリー著 岩波書店

お菓子が好きなの？じゃあ、数学に向いてるね。

「君はどこの学部？」と訊かれると、いつも僕は困ってしまう。出席していないからではない。答えた後の相手のリアクションが想像できるからだ。「数学科だよ。」その言葉は相手を黙らせる魔法だ。

いわゆる理系にあって、数学はふしぎな扱いをされている。あるときは科学の女王と呼ばれ、またあるときには哲学っぽいと評される。

「『探偵ガリレオ』みたいに黒板いっぱいになんか数式を書けるんだ」と言われたことも少なくない。(湯川先生の専門は物理学なのだが)

「おいしい数学」は、そんな数学へのイメージを壊すだろう。お菓子作りと数学が似ているというのだから！ 突飛なアイデア？—それなら目次を開いて、目に留まった章を読んでみよう。この本に散りばめられたたくさんのレシピとクイズが、あなたをわくわくさせてくれる。とりあえずやってみることが料理と数学を楽しむコツだから。

お菓子は好きだけど、数学はちょっと…というあなたにこそ読んでほしい一冊。冷めないうちに一口どうぞ。